



株式会社エイチームホールディングス

2025 年 7 月期 第 3 四半期決算説明会

2025 年 6 月 6 日

林：本日はエイチームホールディングス、2025 年 7 月期 第 3 四半期決算説明会にご参加いただき、ありがとうございます。4 月 4 日に社名を変更いたしまして、株式会社エイチームからエイチームホールディングスとなっております。社名変更から初めての決算説明会です。以後、こちらの社名でよろしくお願いいたします。



まずは、ハイライトです。決算ハイライトとして、YonY、QonQ で増収増益、売上は堅調、利益は好調に着地いたしております。FY2025 Q3 の会計期間における売上高といたしまして 64 億 2,900 万円、調整後 EBITDA で 7 億 100 万円となっております。

今回の一番の要因といたしましては、スライド右の記載にあります通り、事業ポートフォリオの適正化を遂行、その結果、利益低迷期を脱し、再成長に突入したと考えております。

それでは、FY2025 Q3 の決算概要をご説明します。本日は、連結業績予想をこのように上方修正しております。調整後 EBITDA が 13 億 5,000 万円から 15 億円、経常利益が 10 億円から 13 億円、当期純利益が 5 億 6,000 万円から 10 億円と修正しております。

● FY2025 連結業績予想の修正

FY2025 連結業績予想を上方修正（調整後EBITDA・経常利益・当期純利益）

	売上高 (百万円)	調整後 EBITDA (百万円)	EBITDA (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	当期純利益 (百万円)	1株当たり 当期純利益 (円 銭)
期初発表予想 (A)	25,000	1,350	1,250	1,000	1,000	560	30.17
今回修正予想 (B)	25,000	1,500	1,250	1,000	1,300	1,000	53.88
増減額 (B - A)	0	150	0	0	300	440	23.71
増減率 (B ÷ A)	0.0%	111.1%	0.0%	0.0%	130.0%	178.6%	178.6%
前期実績 (2024年7月期)	23,917	740	711	562	609	953	51.36

※ 2025年4月10日に開示した「特別利益の計上見込み及び業績予想の修正（上方修正）に関するお知らせ」、及び2025年6月6日に開示した「業績予想の修正（上方修正）及び営業外損失の計上に関するお知らせ」の通り、FY2025 連結業績予想を修正しました。

※ 調整後EBITDAは、2025年7月期 第2四半期決算より導入した業績評価指標であり、当指標の業績予想については、2025年3月14日に開示した「2025年7月期 第2四半期決算説明資料」で公表しております。

※ 上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、最終の業績は今後様々な要因によって予想と異なる可能性があります。



© 2025 Ateam Holdings Co., Ltd.

FY2025 Q3 決算説明資料 株式会社エイチームホールディングス（証券コード：3662）

5

各利益項目といたしましては、こちらのスライドの通りとなっております。

● FY2025 Q3 会計期間決算サマリー（2025.2 - 2025.4）

**売上高・調整後EBITDAは、Y/Y・Q/Qともに増収増益。
既存事業が好調に推移し、業績をけん引。**

売上高

6,429

百万円

Y / Y 102.6 %

Q / Q 109.7 %

調整後EBITDA

701

百万円

Y / Y 191.9 %

Q / Q 175.1 %

経常利益

491

百万円

Y / Y 141.9 %

Q / Q 90.4 %

当期純利益

468

百万円

Y / Y 60.7 %

Q / Q 108.8 %



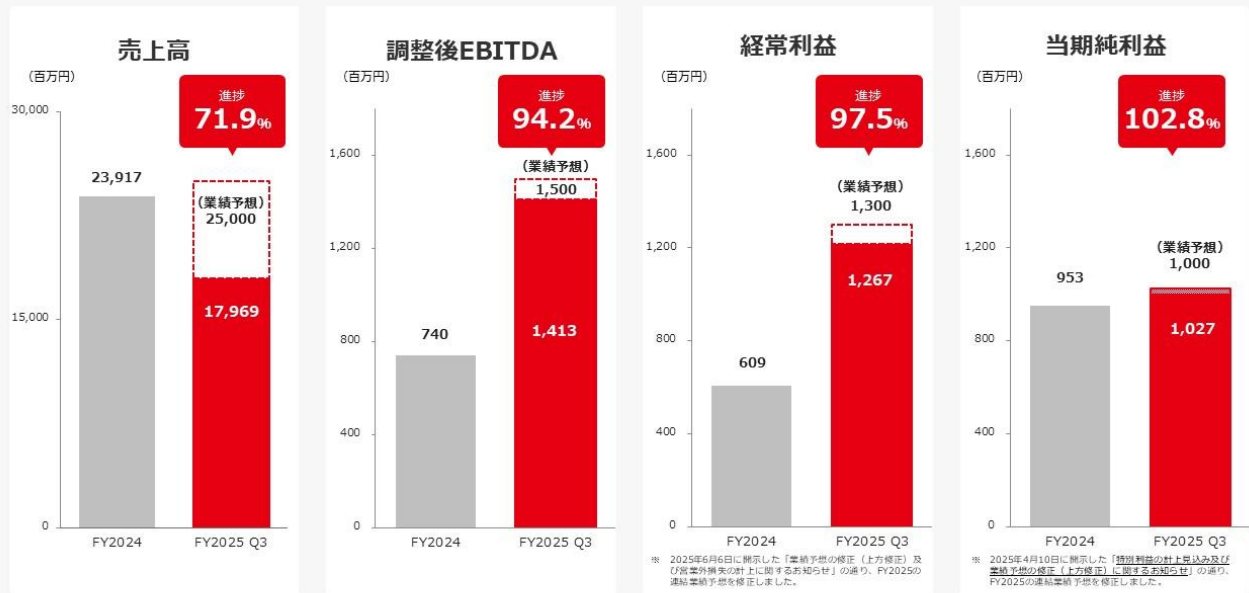
© 2025 Ateam Holdings Co., Ltd.

FY2025 Q3 決算説明資料 株式会社エイチームホールディングス（証券コード：3662）

6

通期の進捗状況です。売上高、FY2025 Q3 を終了した段階で 71.9%、調整後 EBITDA94.2%、経常利益 97.5%、当期純利益 102.8%という進捗となっております。

● FY2025 Q3 累計期間決算サマリー (2024.8 - 2025.4)



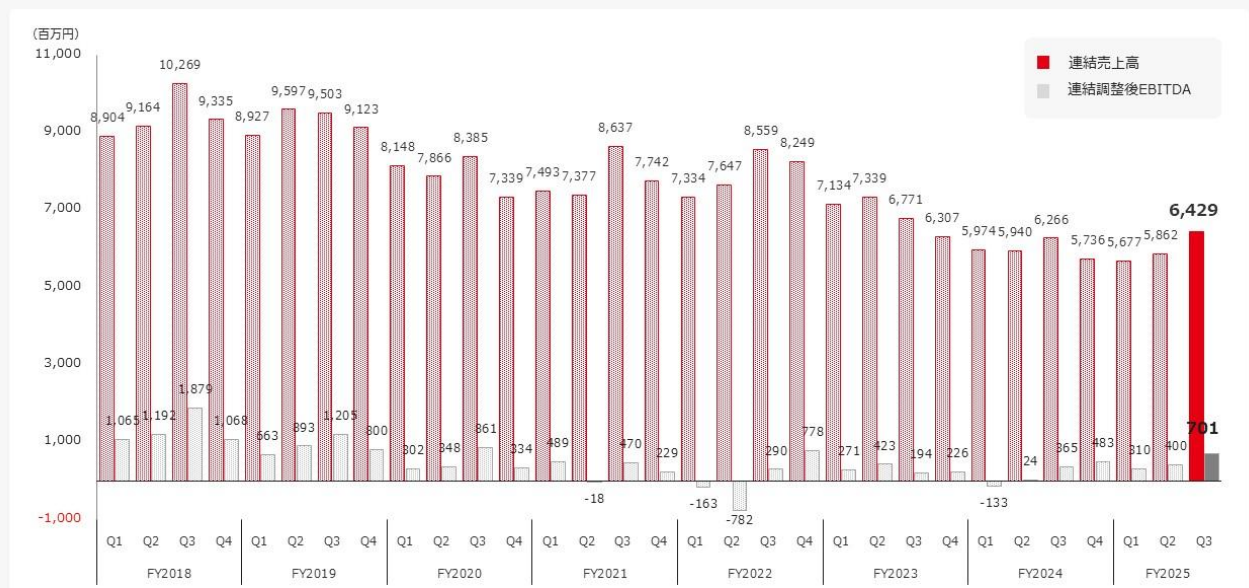
© 2025 Ateam Holdings Co., Ltd.

FY2025 Q3 決算説明資料 株式会社エイチームホールディングス（証券コード：3662）

7

これが四半期推移のグラフとなっております。

● 連結四半期業績の推移



© 2025 Ateam Holdings Co., Ltd.

FY2025 Q3 決算説明資料 株式会社エイチームホールディングス（証券コード：3662）

8



ATEAM HOLDINGS

Ateam Holdings Co., Ltd. www.a-tm.co.jp

Dai Nagoya Building 32F, 3-28-12 Meieki, Nakamura-ku, Nagoya 450-6432, Japan

売上は堅調、利益は好調に着地。各既存事業が好調に推移し、業績をけん引。

(単位: 百万円)	FY2025 Q3	FY2024 Q3	増減率 (Y/Y)	FY2025 Q2	増減率 (Q/Q)
売上高	6,429	6,266	102.6 %	5,862	109.7 %
調整後EBITDA	701	365	191.9 %	400	175.1 %
EBITDA	924	365	252.7 %	-47	- %
営業利益	832	330	252.1 %	-135	- %
経常利益	491	346	141.9 %	543	90.4 %
当期純利益	468	771 [※]	60.7 %	430	108.8 %

※ 2024年7月期 第3四半期に「ラルーン事業」の売却による事業譲渡益491百万円を特別利益として計上しております。



© 2025 Ateam Holdings Co., Ltd.

FY2025 Q3 決算説明資料 株式会社エイチームホールディングス (証券コード: 3662)

9

あらためて、新しく導入した調整後 EBITDA についてご説明します。

● (参考) 新・業績評価指標「調整後EBITDA」について (1/2)

「会計上の利益」には表れない「本業の収益性」を把握するため、調整後EBITDAを導入。

営業利益

+) のれん償却費

+) 減価償却費

EBITDA

+) M&A関連費用^{※1}

+) 販売促進引当金繰入額 (暗号資産関連)

+) 販売促進費 (暗号資産関連)

-) 対象期間におけるポイント付与分の費用^{※2}

調整後EBITDA

連続的なM&Aによる成長戦略の実行、及び暗号資産関連事業を運営するPaddle社の連結開始に伴い、業績評価指標を変更。本業の収益性を適切に表す業績評価指標として、調整後EBITDAでモニタリングする方針。

調整後EBITDA 調整項目^{※3}

- ① M&Aに関わる一過性の費用を控除
- ② Paddle社の暗号資産に関わる会計上の費用を控除
- ③ ②で控除した会計上の費用を事業実態に合わせた費用へ置き換え

※ 1: M&A関連費用…M&A執行手数料 (FA費用を含む仲介手数料・各種DD費用等)、及びM&Aに係る資金調達費用 (融資関連手数料、公算増資費用等)

※ 2: 対象期間における付与分の費用…暗号資産の月末終値×対象期間における付与ポイント数×ポイント失効率

※ 3: 調整後EBITDAに関する業績評価指標についての考え方は、本資料の「APPENDIX: 業績評価指標「調整後EBITDA」 (P39以降)」をご確認ください。



© 2025 Ateam Holdings Co., Ltd.

FY2025 Q3 決算説明資料 株式会社エイチームホールディングス (証券コード: 3662)

10

営業利益にのれん償却費などを足し戻した EBITDA に対して、影響する 4 つの項目を調整しております。M&A に関わる一過性の費用に加え、Paddle 社の暗号資産に関わる会計上の費用があります。Paddle 社は主なサービスとして、歩くとポイントが貯まり、そのポイントをビットコイン



ATEAM HOLDINGS

Ateam Holdings Co., Ltd. www.a-tm.co.jp

Dai Nagoya Building 32F, 3-28-12 Meieki, Nakamura-ku, Nagoya 450-6432, Japan

などの暗号資産に交換できるアプリケーションを配信しています。そのために、販売促進引当金繰入額などが入ってきています。

これら 4 つの項目をスライドのとおり調整した結果を調整後 EBITDA という指標にしています。

● (参考) 新・業績評価指標「調整後 EBITDA」について (2/2)

暗号資産の市場価格変動が各業績評価指標に与える影響



© 2025 Ateam Holdings Co., Ltd.

FY2025 Q3 決算説明資料 株式会社エイチームホールディングス (証券コード: 3662)

11

このスライドは、暗号資産の価格変動が、我々の業績に与える影響を簡単にご説明した図です。

暗号資産が上昇すると、引当金繰入額などの営業内費用が増加し、その結果として営業利益が減ります。ただし、暗号資産の評価が上がるため、経常利益は増加します。これとは逆に、暗号資産が下落した場合は、営業内費用が少なくなり、営業利益は増加します。暗号資産の評価が下がった結果として、経常利益も下がります。

このような影響を与えてきますが、暗号資産の価格が上昇あるいは下落しても、当社の事業運営に影響があるわけではないため、本業の収益性を適切に表す指標である調整後 EBITDA には大きく影響が出ないようになっています。

セグメント別の業績です。デジタルマーケティング事業が売上 54 億 5,400 万円、調整後 EBITDA 7 億 9,500 万円。エンターテインメント事業が売上 9 億 7,400 万円、調整後 EBITDA 9,000 万円となっております。

各事業で収益創出に向けた取組が奏功し、特に利益指標が好調に推移。

(単位: 百万円)	FY2025 Q3	FY2024 Q3	増減率 (Y/Y)	FY2025 Q2	増減率 (Q/Q)
デジタルマーケティング					
売上	5,454	5,249	103.9 %	4,727	115.4 %
調整後EBITDA	795	564	140.9 %	465	170.8 %
営業利益	946	550	171.8 %	-50	- %
エンターテインメント					
売上	974	1,017	95.8 %	1,134	85.9 %
調整後EBITDA	90	-68	- %	197	45.6 %
営業利益	89	-68	- %	197	45.6 %

※ M&A関連費用については、報告セグメントに帰属しない共通費用ですが、デジタルマーケティング事業に関連するM&A費用として、その全額をデジタルマーケティング事業に含めて計算しております。



© 2025 Ateam Holdings Co., Ltd.

FY2025 Q3 決算説明資料 株式会社エイチームホールディングス (証券コード: 3662)

12

デジタルマーケティング事業の四半期ごとの業績推移です。YonY、QonQ で自動車事業・引越し事業が好調に推移し、業績をけん引しました。さらに、M&A により取得した 4 社が売上高に計上されております。調整後 EBITDA に関しましては、各事業の増収に伴う増益となっております。また、利益確保を優先とした事業運営方針に基づく、投資の最適化によるコストコントロールが奏功しました。

● デジタルマーケティング事業：四半期業績の推移



Y/Y・Q/Qで増収増益で着地。
自動車・引越し事業が好調に
推移し、業績をけん引。

売上

- 自動車事業及び引越し事業の増収がセグメント売上に大きく貢献したことで、業績をけん引
- M&Aにより取得した4社が連結売上高に計上

調整後EBITDA

- 各事業の増収に伴う増益
- 利益確保を優先とした事業運営方針に基づき、投資の最適化によるコストコントロールが奏功

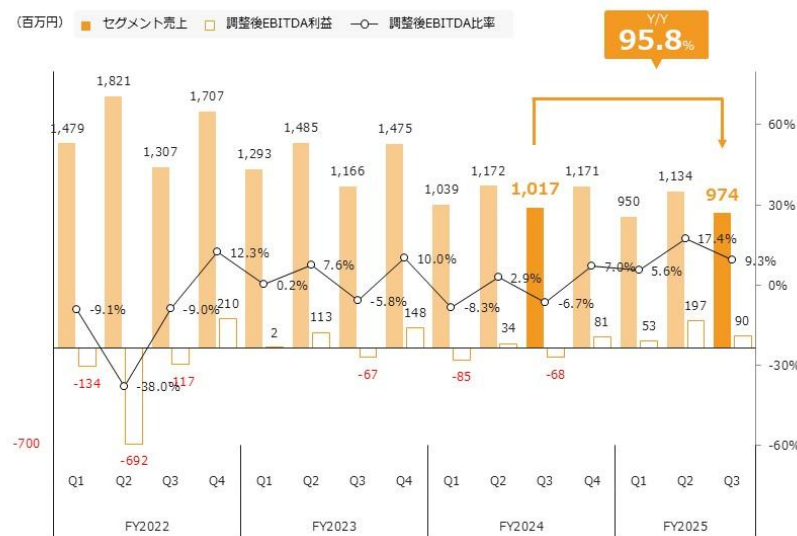


© 2025 Ateam Holdings Co., Ltd.

FY2025 Q3 決算説明資料 株式会社エイチームホールディングス (証券コード: 3662)

13

● エンターテインメント事業：四半期業績の推移



Y/Y 減収増益、Q/Q 減収減益。
既存タイトルの効率運用に加え、
協業比率は上昇傾向。

売上

- 既存タイトルのダウントレンドにより、引き続き減少傾向であり、Y/Yで減収。

調整後EBITDA

- 引き続き、既存タイトルの効率的な運用やコスト抑制を実施
- 協業案件の比率は上昇傾向が続き、協業比率は19.4%へ。既存タイトルのダウントレンドをカバーしつつ、利益を確保



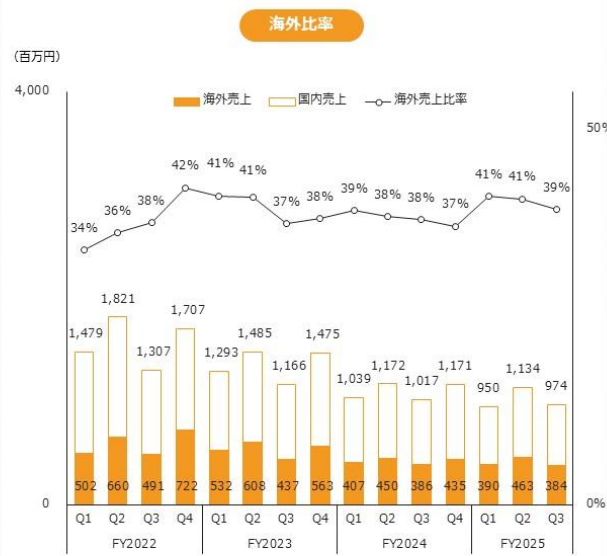
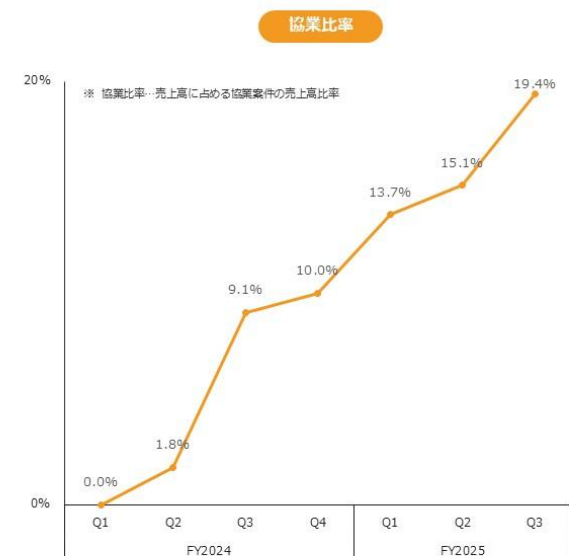
© 2025 Ateam Holdings Co., Ltd.

FY2025 Q3 決算説明資料 株式会社エイチームホールディングス (証券コード: 3662)

14

エンターテインメント事業における、四半期ごとの業績推移です。既存タイトルはダウントレンドですが、最近続けている協業案件でカバーし、安定的な売上利益を確保している状況です。

● エンターテインメント事業：海外売上の四半期推移



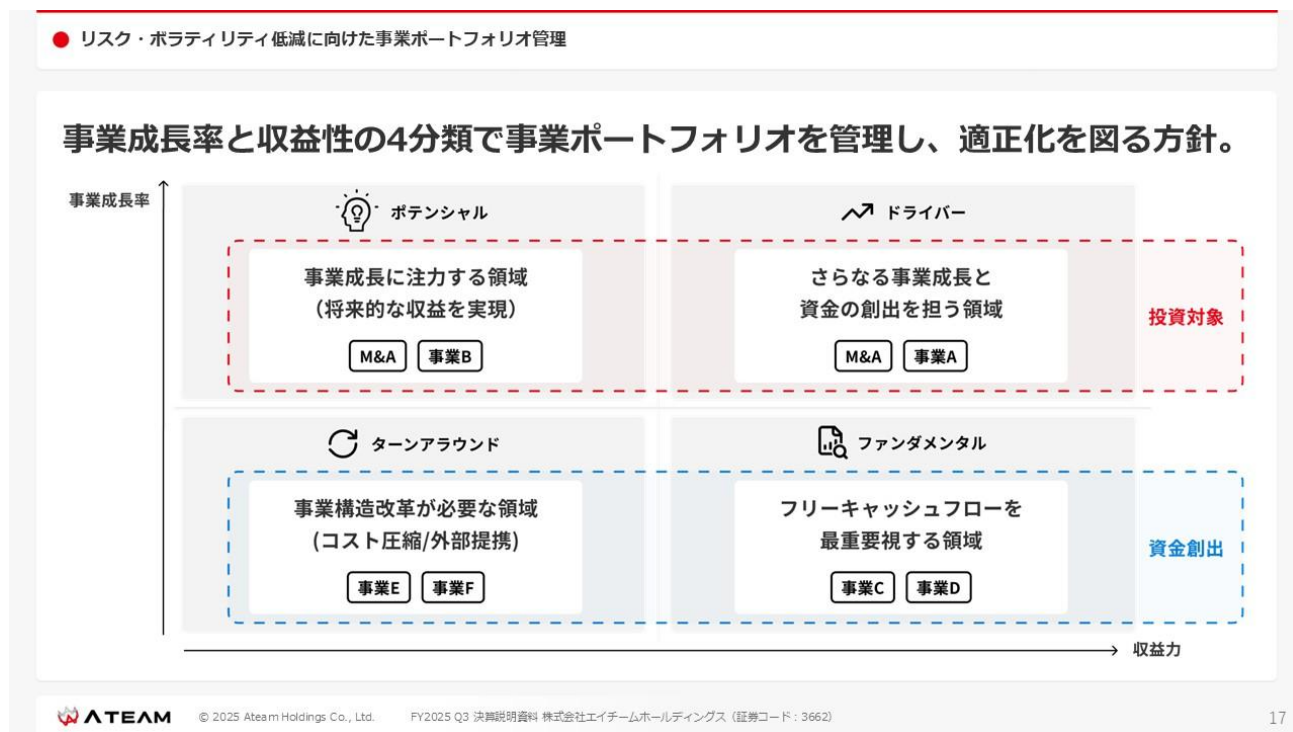
© 2025 Ateam Holdings Co., Ltd.

FY2025 Q3 決算説明資料 株式会社エイチームホールディングス (証券コード: 3662)

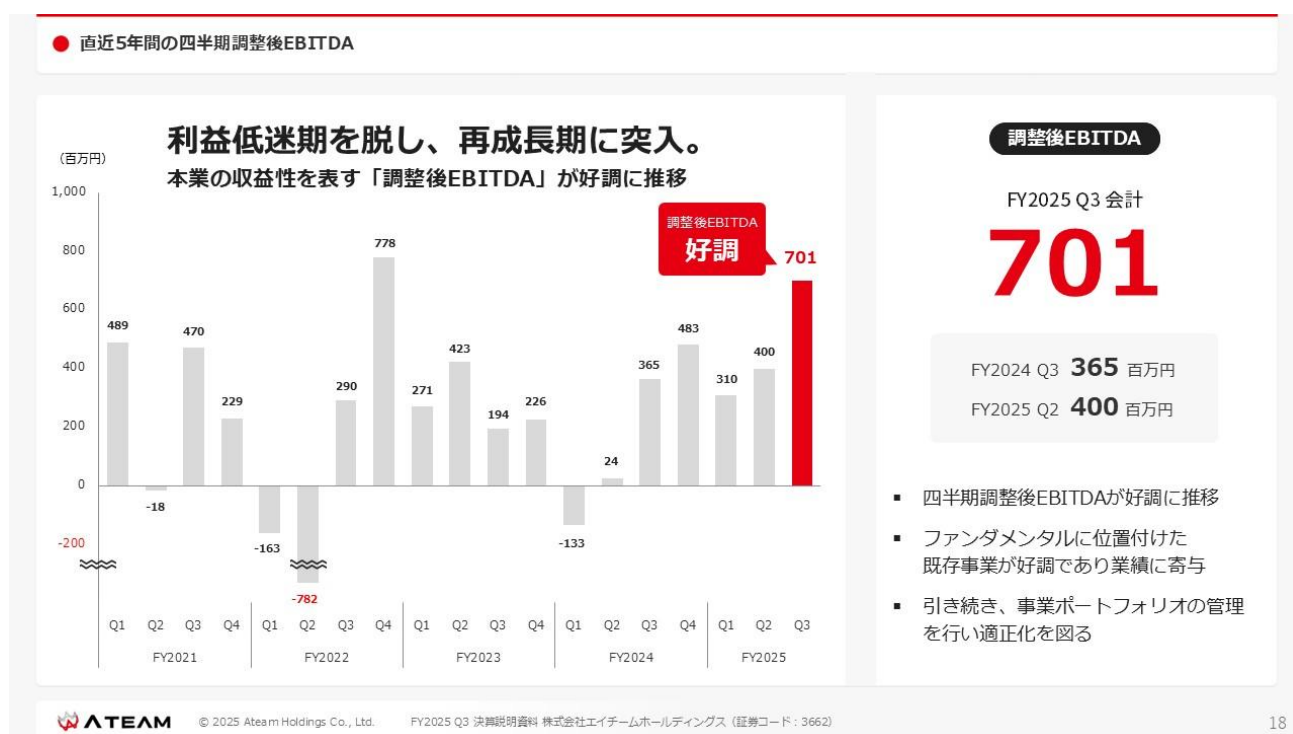
15

エンターテインメント事業における、海外売上の四半期推移です。左側のグラフでは協業比率が高まっていること、右側のグラフでは海外比率の推移を示しています。

リスク・ボラティリティの低減に向けた、取り組みの進捗についてご説明します。現在の事業を事業成長率と収益性の4分類で事業ポートフォリオを管理し、適正化を図っています。スライドの縦軸は事業成長率、横軸は収益力を示しています。



成長率が低く収益力も弱い領域はターンアラウンドということで、そのような事業のカーブアウトも遂行してきています。右上のドライバー領域に、より資源を投資し成長を図ってきています。



その結果、このスライドのグラフのように再成長期に突入できたと考えております。

● 実施したカーブアウト「ライフドット」「ナビナビ保険」

経営資源の配分を意識したグループ全体の事業ポートフォリオの最適化及び
事業価値最大化のため「ライフドット」「ナビナビ保険」の譲渡を決定



対象サービス 終活総合サイト「ライフドット(Life.)」

譲渡先企業 株式会社鎌倉新書

譲渡価格 3.1億円

実行日 2025年6月2日

※ 詳細は、2025年4月10日に開示した「連結子会社における会社分割（簡易吸収分割）による株式会社鎌倉新書への権利譲渡の承認に関するお知らせ」をご参照ください。



対象サービス 総合保険サイト「ナビナビ保険」等

譲渡先企業 Sasuke Financial Lab 株式会社

譲渡価格 1.6億円（予定）

実行予定日 2025年8月1日（予定）

※ 詳細は、2025年5月15日に開示した「連結子会社の異動（株式譲渡）に関するお知らせ」をご参照ください。



© 2025 Ateam Holdings Co., Ltd.

FY2025 Q3 決算説明資料 株式会社エイチームホールディングス（証券コード：3662）

20

具体的には、ターンアラウンド領域の2つの事業を譲渡（カーブアウト）しています。

1つが、お墓を比較検討できる終活総合サイト「ライフドット」です。こちらを鎌倉新書社に譲渡しました。また、保険代理店事業や総合保険サイトの「ナビナビ保険」を運営する株式会社エイチームフィナジーについては、Sasuke Financial Lab 社に株式譲渡予定となっています。

このように、我々の人的リソースをより成長事業に投資することによって加速させていこうと思っています。

自社タイトル中心から協業案件主体へ リスクを低減し、安定的な黒字運営が可能な事業構造へ転換

今後の数年間は新規協業案件リリースに向けた準備期間

自社案件中心から協業案件を主体とした、プロダクトポートフォリオの入替え期

エンターテインメント事業の赤字リスク低減

協業によるリスク分散と経営管理体制の強化により黒字を堅守



© 2025 Ateam Holdings Co., Ltd.

FY2025 Q3 決算説明資料 株式会社エイチームホールディングス（証券コード：3662）

22

エンターテインメント事業におけるリスク・ボラティリティ低減の取り組みについてです。従前からお話ししているとおり、自社タイトルから協業案件へと移行しています。協業先から開発費用をいただきながら開発を行います。その結果、人件費の負担を軽減することで、エンターテインメント事業におけるボラティリティのリスクをかなり減らすことができていると考えています。

今後数年間は協業案件リリースに向けた準備期間として黒字を堅守。ダウンサイドケースでも黒字を死守しつつ、将来一部アップサイドも得られるプロダクトポートフォリオを構築。

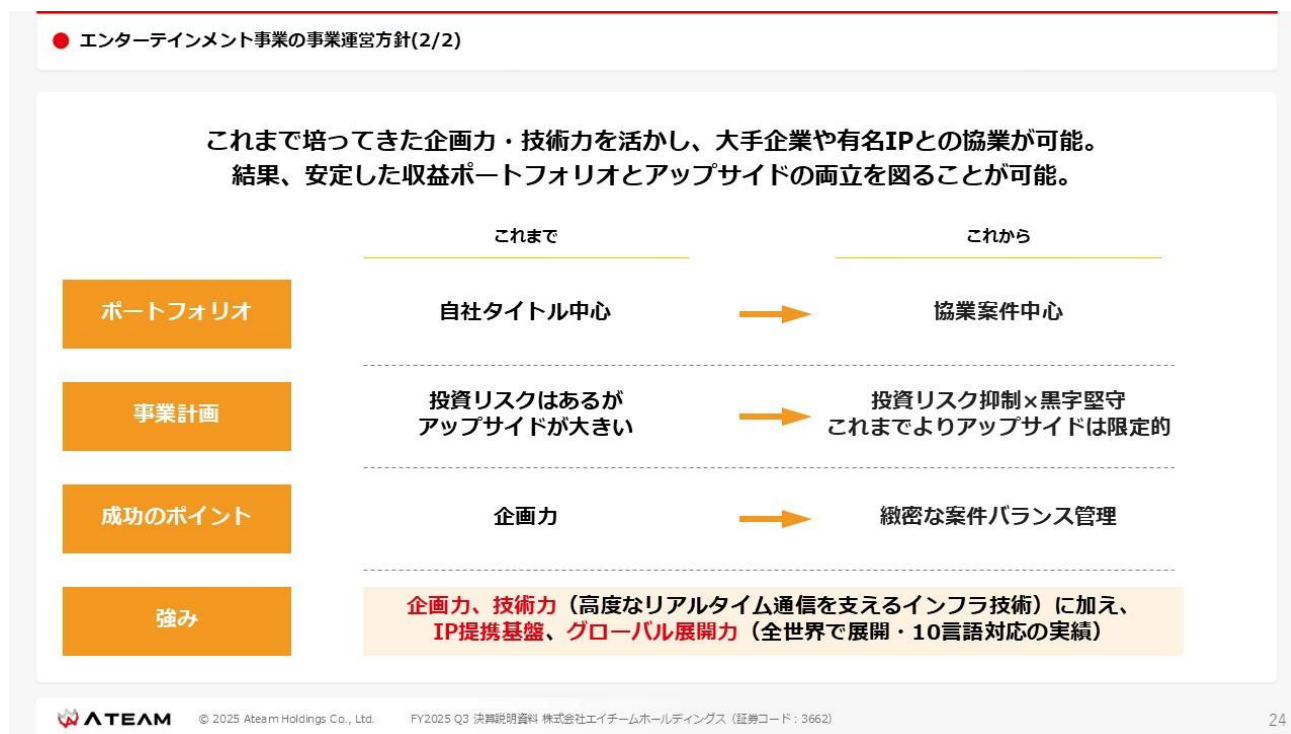


© 2025 Ateam Holdings Co., Ltd.

FY2025 Q3 決算説明資料 株式会社エイチームホールディングス（証券コード：3662）

23

このスライドは、ここ数年のトレンドと今後の見通しを示したグラフです。協業先との受託案件ではありますが、完全受託ではなく、我々も費用を負担しながら将来の売上をシェアするような契約となっています。無事リリースされた時には、上振れもあるのではないかと期待しています。

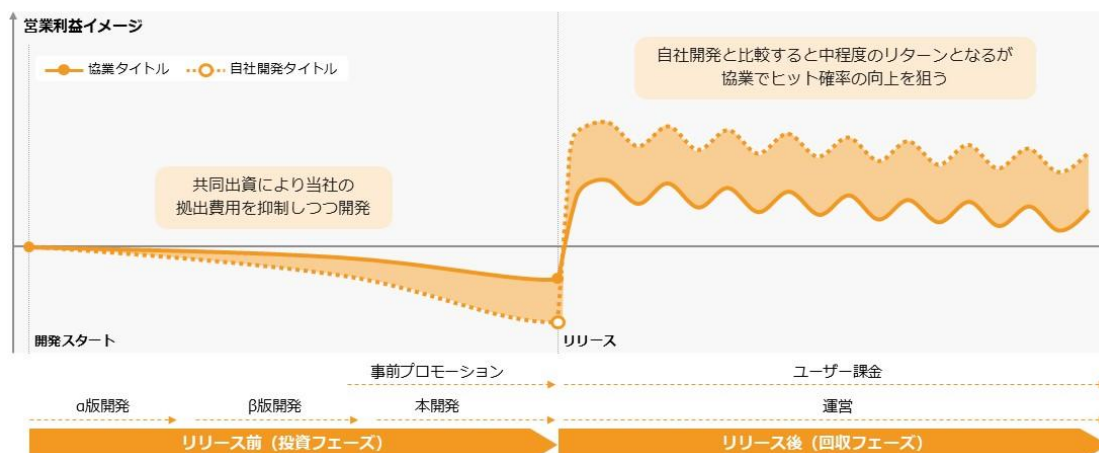


あらためてポートフォリオとしては、自社タイトルから協業案件へと移行しています。事業計画としては、リスクを抑えながらも安定的な利益を確保して、黒字を堅守するということです。海外でも人気な日本が誇る IP と提携することにより、グローバルへと展開していきたいと考えています。

以下のスライドは、自社タイトルと協業案件の収益を予想したグラフです。自社開発タイトルに比べ、協業案件のリスクの低さを表しています。

● 自社タイトルと協業案件の収益貢献イメージの違い

共同出資して開発するタイトルでは、当社が拠出する開発費用の抑制を図りつつ、リターンは自社オリジナルタイトル（当社完全出資）と比較すると限定的となる座組



© 2025 Ateam Holdings Co., Ltd.

FY2025 Q3 決算説明資料 株式会社エイチームホールディングス（証券コード：3662）

25

過去 1 年間の M&A の実績です。スライドに記載の 4 社にジョインしていただいています。

● 過去 1 年間の M&A の実績

	業務効率化支援	集客支援	集客支援	集客支援
	 microCMS	 Paddle	 WCA INC.	 strainer
社名	株式会社microCMS	株式会社Paddle	株式会社WCA	株式会社ストレイナー
実行日	2024年6月3日	2024年11月1日	2024年12月26日	2025年3月3日
取得価格	1,500百万円	368百万円（発行済株式67%取得）	150百万円	240百万円
主要事業	国内最大級ヘッドレス CMS「microCMS」	暗号資産ポイントアプリ「Bit Start」「Bit Walk」	WEBマーケティング運用代行 WEBコンサルティング事業	経済メディア「Strainer」財務データベース「Finboard」
目的	法人向けの業務効率化支援ビジネスの強化	高収益のビジネスを保有収益基盤の強化	法人向けのWEB集客支援領域の獲得と強化	経済メディアの取り込み新規法人顧客数の拡大
シナジー	「Qita」を通じた認知向上及び販路の拡大	ポイントアプリ運用のノウハウの活用	既存メディア×広告運用代行のシナジー最大化	当社のノウハウ・リソース提供による収益拡大



© 2025 Ateam Holdings Co., Ltd.

FY2025 Q3 決算説明資料 株式会社エイチームホールディングス（証券コード：3662）

27

microCMS 社は国内最大級ヘッドレス CMS であり、モバイルなどいろいろな端末向けのホームページを作る際の管理者画面を提供するサービスを手がけています。先ほどご説明した Paddle 社は、歩くことでポイントが貯まり、それを暗号資産に変えることができるサービスを展開しています。WCA 社は、Web に特化した広告代理店事業を行っています。最近ジョインしていただいたス

トレーナー社は、経済メディア「Strainer」や財務データベース「Finboard」などを手がけている会社です。

● M&Aの進捗の報告

積極的なM&Aを遂行しながら、今期は、実行した4社のPMIに注力。
さらに、事業ポートフォリオの最適化に向けたカーブアウトを2件実施。

	～FY2025 Q2累計	～FY2025 Q3累計	増加率
1 接触企業数 IM (※1) 取得数を含む	216	227	+5.1 %
2 トップ面談数	39	42	+ 7.7 %
3 SPA/実行 ※2	4	4	-

※1：IM…Information Memorandum (企業概要書) ※2：SPA…Stock Purchase Agreement (株式譲渡契約書)



© 2025 Ateam Holdings Co., Ltd.

FY2025 Q3 決算説明資料 株式会社エイチームホールディングス (証券コード：3662)

28

今後の成長ドライバーの1つであるM&Aについては、引き続き力強く推進しています。

● M&Aの主なターゲット領域

FY2028までに、M&Aに100億円以上を投下、成長投資を加速化
主なターゲット企業は、デジタルマーケティング領域

ターゲット業種	目的	獲得する機能	企業規模 (参考)	
			社員数	営業利益/EBITDA
WEBマーケティング/ WEBマーケティング運用代理店	<ul style="list-style-type: none"> 集客支援事業の型を取り入れ メディア連携による支援強化 	集客支援 コンサル メディア連携 顧客基盤	10-100 名	1-10 億円
デジタルマーケティング/ 営業支援SaaS	<ul style="list-style-type: none"> SaaSによる業務効率化支援 安定的な収益向上の実現 	業務支援 顧客基盤	10-30 名	業績+ MRR成長も重視
送客メディア	<ul style="list-style-type: none"> メディア連携による収益拡大 クライアントリーチの獲得 	メディア連携 顧客基盤	10-30 名	1-10 億円
SES (開発会社)	<ul style="list-style-type: none"> 技術開発支援の強化 クライアントリーチの獲得 WEBサイトの開発・運営・保守 	開発・制作 運用・保守	10-30 名	1-10 億円



© 2025 Ateam Holdings Co., Ltd.

FY2025 Q3 決算説明資料 株式会社エイチームホールディングス (証券コード：3662)

29

M&A のターゲット領域として、Web マーケティングのコンサルティング・Web マーケティングの運用代理店、デジタルマーケティング・営業支援 SaaS、送客メディア、SES（開発会社）などを考えています。

● FY2025 連結業績予想

	FY2025			(参考) FY2024	
	業績予想 (百万円)	構成比 (%)	Y/Y (%)	実績 (百万円)	構成 (%)
売上高	25,000	100.0	104.5	23,917	100.0
デジタルマーケティング事業	20,700	82.8	106.1	19,516	81.6
エンターテインメント事業	4,300	17.2	97.7	4,400	18.4
調整後EBITDA ^{※1}	1,500	—	202.6	740	—
EBITDA ^{※1}	1,250	—	175.7	711	—
営業利益	1,000	—	177.8	562	—
経常利益 ^{※2}	1,300	—	213.4	609	—
当期純利益 ^{※2}	1,000	—	104.9	953	—

※1: EBITDA = 営業利益 (損失) + 減価償却費 (無形固定資産含む) 及びのれん償却費、調整後EBITDA = EBITDA + M&A関連費用 + 販売促進引当金繰入額 + 販売促進費 - 付与ポイントの暗号資産相当額* * Paddle社の事業から生じる費用
 ※2: 2025年4月10日に開示した「特別利益の計上見込み及び業績予想の修正 (上方修正) に関するお知らせ」、及び2025年6月6日に開示した「業績予想の修正 (上方修正) に関するお知らせ」の通り、FY2025 連結業績予想を修正しました。

業績予想は先ほどご説明させていただきましたとおりです。

● FY2025 期末配当予想

将来に向けた安定的かつ継続的な利益成長を見込み、配当予想は**1株当たり22.0円**
 今後、業績に応じて安定的な配当を行うとともに、機動的な株主還元を実施

	FY2025 期末配当予想	FY2024実績	FY2023 実績
基準日	07/31	07/31	07/31
1株当たり 配当金	22.0円	22.0円 普通配当18.0円 特別配当4.0円	16.0円
配当性向	40.8 %	42.8 %	207.0 %

※ 上記の配当予想は、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の配当は今後起こりうる様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

配当につきましては、引き続き 1 株当たり 22 円と設定させていただいております。

● 今後に向けて

事業ポートフォリオの適正化を着実に遂行、 利益低迷期を脱し、**再成長期**に突入



© 2025 Ateam Holdings Co., Ltd.

FY2025 Q3 決算説明資料 株式会社エイチームホールディングス（証券コード：3662）

33

事業ポートフォリオの適正化を着実に遂行し、利益低迷期を脱し、着実に再成長期に突入していると感じています。

私からのご説明は以上です。



ATEAM HOLDINGS

Ateam Holdings Co., Ltd. www.a-tm.co.jp
Dai Nagoya Building 32F, 3-28-12 Meieki, Nakamura-ku, Nagoya 450-6432, Japan